

都市再生整備計画(第4回変更)

びわじま えきしゅうへん
枇杷島駅周辺地区

あいち きよすし きゅうにしびわじまちょう
愛知県 清須市(旧西枇杷島町)

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	きよよし きやうにしほりまちちょう 清須市(旧西枇杷島町)	地区名	びわりまきしほうへん 枇杷島駅周辺地区	面積	17 ha
計画期間	平成 14 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標	大目標 "にしび"の核となる安心安全な中心地の形成
	目標1 : JR 枇杷島駅周辺における新たな拠点形成
	目標2 : 駅周辺の利便性の向上(交通の円滑化、バリアフリー化、東西連絡機能の強化)
	目標3 : 水害に強いまちづくり

目標設定の根拠	<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>本市は、名古屋への至近性、広域交通網の拡充により、工業都市的な地域として発展してきた。しかし、近年の経済不況とH12年の東海豪雨をきっかけとした工場転出により、市経済は低迷しつつあり、これらを改善するため、防災性の向上と地域活性化を急務としている。</p> <p>枇杷島駅周辺地区については、旧西枇杷島町の中心に位置することや、名古屋駅から一区間という利便性や立地性に恵まれながら、駅東側については駅舎がなく、交通結節機能や基盤整備水準が低く、工場跡地等の低未利用地が放置されている状況である。また、鉄道を横断する施設もないため、旧西枇杷島町の中心市街地である東側からの交通アクセスは極めて不便であり、住民交流が分断されていることから、東西連絡機能の強化が望まれている。さらに、本市は総合治水対策が必要な都市河川流域にあり、平成12年の東海豪雨の際には本地区も含め、多大なる被害を被っており、水害に対する安全性の確保が強く望まれている。</p> <p>このような状況の中、本地区では、これまでに以下のようなまちづくりの取り組みが行なわれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧西枇杷島町総合計画において当地区は住民とともにまちの核となる新たな都市拠点の形成を目指す地区として位置付け。 JR 枇杷島駅周辺交通環境改善計画(住民アンケート1000通配布、ワークショップ2回開催)を策定し、鉄道駅としての利便性の向上や交通環境改善を図るエリアとして位置付け。 駅東の工場跡地等の土地所有者とH13年にまちづくり協議会発足し、これまでに6回の会合を開催。 平成14年度に枇杷島駅周辺地区としてまち総事業の採択を受け、事業着手。 平成15年8月に、公団施行による土地区画整理事業の認可。
課題	<p>まちの顔にふさわしい拠点として、および土地を有効利用するにあたっての都市基盤が十分ではない。</p> <p>駅周辺の道路が未整備のため駅および駅東西へのアクセス性が低く、住民より東西連絡機能の強化(東西自由通路、橋上駅舎、駅前広場)の整備が望まれている。</p> <p>東海豪雨以降の治水対策の推進。(都市下水路が未整備であり暗渠化による整備、新川総合治水対策計画に基づく貯留施設の整備)</p>

将来ビジョン(中長期)	<p>本地区は、「愛知2010計画」において交流拠点性や魅力を担うまちの核づくりを推進する地区として位置付けされており、また「第3次尾張中部地区広域行政圏計画」において、「安全で利便性の高い定住圏づくり」として、適正な市街地整備事業等の推進を図り、効率の高い土地利用の実現と圏域の顔、シンボルとして、すぐれた都市景観の創出を目指すものである。また、同計画の「活力ある産業圏づくり」においては、商業機能の集積を図り、広域的な商業拠点として魅力ある商業の創出を目指すものである。</p> <p>「新市建設計画」においては、商業地誘導の拠点として、都市機能の集積による交流拠点とすべき地域として位置づけており、それを実現するための主要施策として、新市の玄関口としてふさわしい機能を持ったにぎわいのある魅力的な空間整備、および駅利用者の利便性と快適性を向上させるための駅前の商業・サービス機能の充実の促進を掲げ、まちの顔にふさわしい、魅力的な拠点形成を目指すものである。</p> <p>また、「新川流域総合治水対策緊急5か年計画」(H13~17年度)において、本市に確保すべくとされる32,465tの貯留施設の一部を本地区内に整備することにより、水害に強い安全で安心な都市環境を目指すものである。</p>
-------------	--

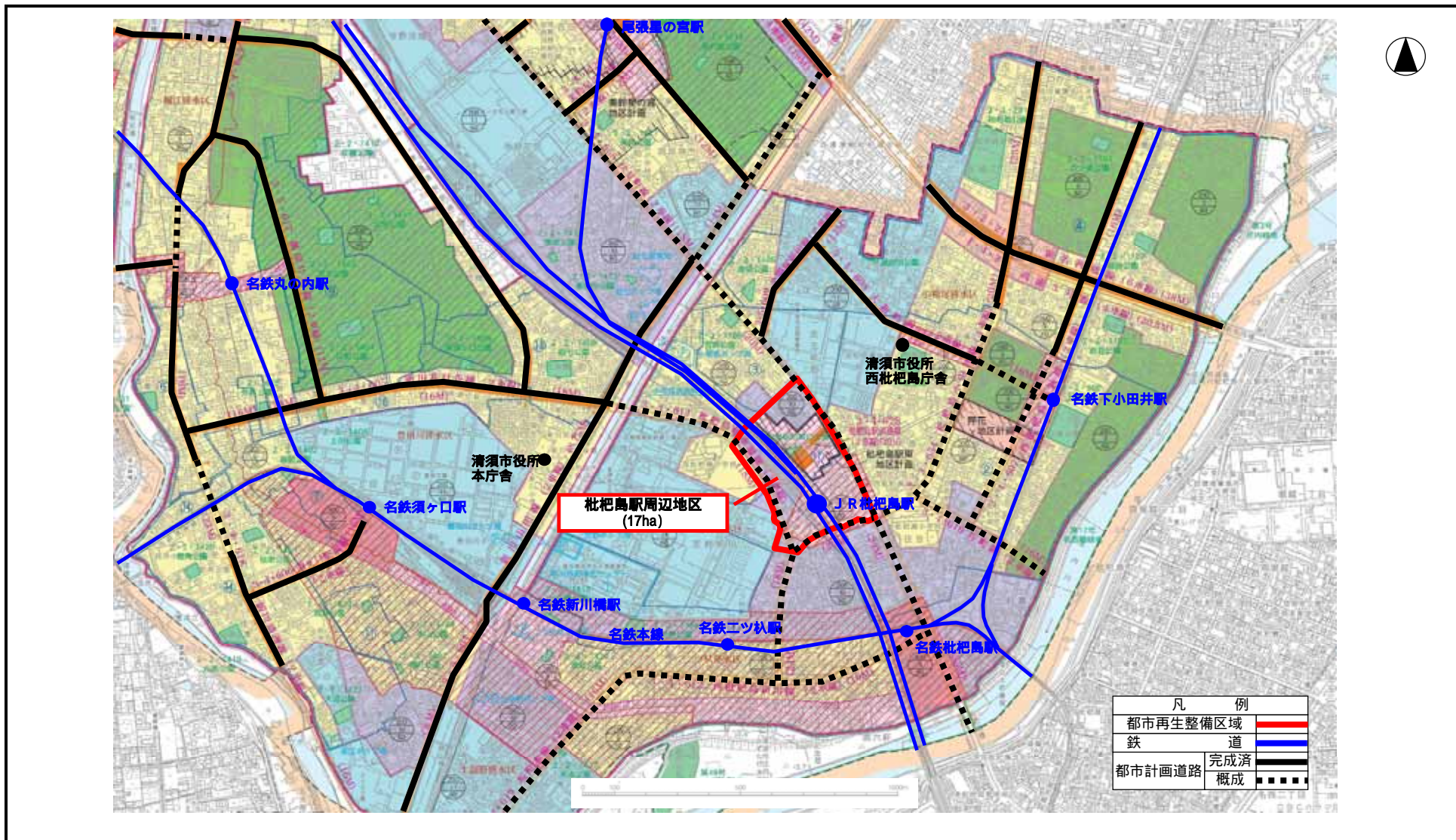
目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 駅の乗降客数	人/日	枇杷島駅の一日当たり平均乗降客数(東海道本線、城北線)	拠点形成および交通利便性の向上による、駅周辺の魅力・集客性のアップにより、就業者および来訪者の増加として、約1割の増加を見込む。	6,811	平成13年度	7,500	平成20年度
2. 建築物延床面積	m ²	区画整理地内の住宅・商業・業務用途の建築物の延べ床面積	区画整理を契機とした民間建築の促進による拠点形成を反映するものとして、区画整理地内の建築物延べ床面積について最有効使用の約7割を見込む。	800	平成16年度	25,000	平成20年度
3. 駅利用者の満足度	%	駅利用者を対象とした、施設に対するアンケート調査	駅の利便性が低い理由の一つである施設の整備水準に対して、駅利用者の半分程度が満足する施設整備を進める。	17.9	平成13年度	50	平成20年度
4. 放置自転車数	台	地区内の放置自転車数(台数)	駅前広場内等の自転車駐輪場の設置により、駅周辺の放置自転車数を削減し、歩行環境の向上を目指す。	400	平成16年度	0	平成20年度
5. 浸水区域面積	ha	1/5の降雨モデルによる旧西枇杷島町内(本事業による貯留施設整備流域内)の床下浸水区域面積(想定面積)	本市での水害に強いまちづくりを達成すべく、浸水被害軽減の指標として、床下浸水区域面積の低減を目指す。	13.97	平成15年度	7.02	平成18年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・土地区画整理事業、交通結節点改善事業による都市基盤整備を契機とした土地利用転換の促進を図るとともに、まちの顔として中心駅にふさわしい高質空間形成施設を整備することで、市の玄関口として整備し、空間を生かしたコミュニティの創造と共生の場としての活用を図り、拠点形成を目指す。</p>	<p>・土地区画整理事業(基幹事業/平成15年8月12日事業認可) ・道路(基幹事業/西口駅前広場(平成18年3月17日都市計画決定)) ・地域生活基盤施設(基幹事業/JR枇杷島駅東口駐輪場) ・都市再生交通拠点整備事業(基幹事業/東西自由通路) ・地域創造支援事業(提案事業/東西自由通路用地取得事業) ・高質空間形成施設(基幹事業/カラー舗装・石畳・照明施設、シェルター、ストリートファニチャー、モニュメント等) ・交通結節点改善事業(関連事業/東口駅前広場・駅前通線) ・JR枇杷島駅東まちづくり協議会(関連事業)</p>
<p>・土地区画整理事業、交通結節点改善事業および街路事業による補助幹線道路、駅前広場等の整備により、駅周辺の円滑な交通体系の確立を図り、また分断された東西について自由通路を整備することにより、東西連絡機能の強化を図る。</p>	<p>・土地区画整理事業(基幹事業) ・道路(基幹事業/西口駅前広場) ・都市再生交通拠点整備事業(基幹事業/東西自由通路) ・地域創造支援事業(提案事業/橋上駅舎・東西自由通路用地取得事業) ・交通結節点改善事業(関連事業/東口駅前広場・駅前通線) ・街路事業(関連事業/枇杷島小田井線・愛知県によりH3事業着手)</p>
<p>・土地区画整理事業と連携した都市下水路の布設替え及び駅前広場地下貯留池の整備により、水害に強い安全で安心な都市環境整備を図る。</p>	<p>・河川(基幹事業/駅前広場地下貯留池・平成14年度まち総要素事業採択、町により平成15年度工事着手) ・都市下水路整備事業(関連事業/小場塚1・2・3号幹線・都市基盤整備公団により平成15年度工事着手) (平成18年度から公共下水道整備事業へ変更 小場塚1号幹線)</p>
<p>その他</p> <p>景観形成の誘導を図るための方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR枇杷島駅周辺地区における公共施設については、歴史街道「美濃路」の枇杷島橋界隈に伝わる「七勝八景」をデザインコンセプトに景観形成を図る。 ・民有地については、名古屋駅より一駅、4分という立地特性を活かした駅前にふさわしい住宅・商業を基本とした良好な居住環境の形成を図るため、まちづくりのルールとなる地区計画の策定を進める。 <p>コミュニティの促進によるまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後のまちの維持管理については、東西自由通路の整備により促進される地域間のコミュニティを活用し、地域住民主体の組織による清掃活動や花壇管理等の実施を推進していく。 <p>住民への広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗や成果を随時広報にて知らせる一方、工事現場見学会を定期的を実施して事業への理解をより深めるように努める。 <p>事業の推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率的かつ円滑な推進に資するため、市内関係部局相互の連絡調整を行うことを目的とした大規模プロジェクト推進連絡協議会にて随時議論している。また、議会にも清須市駅周辺開発推進対策特別委員会が設置されており、定期的に報告を行い理解を得ながら進めている。 	

都市再生整備計画の区域

びわしまえきしゅうへん あいちけんきよすし 枇杷島駅周辺地区(愛知県清須市)	面積 17 ha	区域 清須市西枇杷島町後亥新田の全部と清須市西枇杷島町西八丁、二見、稲株、五畝割、壹反五畝割、七畝割、養和、芝場、旭一丁目、旭二丁目、旭三丁目の各一部
--	-------------	--



枇把島駅周辺地区(愛知県清須市) 整備方針概要図

目標	・JR枇把島駅周辺における新たな拠点形成	代表的な指標	駅の乗降客数 (人/日)	6,811 (H13年度)	7,500 (H20年度)
	・駅周辺の利便性の向上(交通の円滑化、バリアフリー化、東西連絡機能の強化)		放置自転車数 (台)	400 (H16年度)	0 (H20年度)
	・水害に強いまちづくり		想定浸水区域面積 (ha)	13.97 (H15年度)	7.02 (H18年度)

